

祝成人

20歳の門出



恩師・友人との楽しいひととき



式典前はリラックス!



決意も新たに夫人の仲間入りをした新成人のみなさん



会場にはみんな素敵な笑顔がたくさん!



佐藤小百合さん
(栗山)

■成人としての自信と責任を■

ないのだが、その「ハタチ」になつてしまったのでこの愛らしいお目目で正面から見据えてみることにします。

ハタチになるまで、私は様々な面から少しずつ社会を垣間見る事があった。それは、学校の先生であったり、バイト先であったり、高校から続けている演劇の活動を通してだったりした。それらを通して私が経験したのは、やはり責任。快適に生活をするには責任を果たさなければならなかった。子供でいれば親という素晴らしい存在が守ってくれたのに…。

そうだったのだ。自分がこれから抱える想像もできない責任の重さに怯えていたのだ。

でも、もう逃げ隠れできない。自信を持って大人の女を目指すべく小百合は歩き出すのだ。

父よ、母よ、お互いがんばろう。

1月15日。とうとうこの日が来てしまった。というのも私はここ数年、私自身が年をとっていくのを「おめでとう」「わあ、ありがとう」てな具合に楽しみながらも何だか他人ごとの様に感じていたからだ。ウフフ17歳。イヤッホー18歳。アレレ? 19歳。ギョエー20歳。といったところ。人生の大きな節目であるハタチは、とても大きく遠いものであったはずなのに、あっという間に到着してしまつた。